

津波特定テーマ委員会WG1

(今回の津波の特性と位置づけ)

前回(5/10)の報告

- 今回の津波は場所によっては貞観津波(869年)クラスかそれ以上と考えられる。(合同調査グループ等による痕跡調査の分析から.)
- 貞観津波クラスの巨大津波の発生頻度は500年から1000年に一度と考えられる(津波堆積物の調査研究のレビューから.)

今回(6/13)の報告

- 最新の調査データ(合同調査G)による津波痕跡高の分布とその特徴
- 過去の津波との比較
(1896明治三陸津波, 1933年昭和三陸津波, 1960チリ津波)